

<資料④>

# 「福島復興への責任を果たすために」

～福島復興へ向けた取り組み～

2015年8月26日

東京電力株式会社  
福島復興本社

## 福島復興本社代表 石崎 芳行



私どもの福島第一原子力発電所の事故により、今なお、発電所周辺地域をはじめとした福島県のみならず、広く社会のみならず大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて心より深くお詫び申し上げます。

私どもが携わっている電気事業は、明治の時代から水力、火力、原子力と、この福島に大変お世話になってまいりました。

このご恩を常に忘れずに、そして被災されている方々の苦しみを常に思い、福島復興への責任を果たすために、早期帰還の実現をはじめとした取り組みに全力を尽くしてまいりますことをお誓い申し上げます。 2015年 8月

## 福島復興本社の組織体制

### 福島復興本社

- ▶ 設立: 2013年 1月 1日
- ▶ 代表: 執行役副社長 石崎 芳行
- ※ 約4,200人体制(2015年 7月現在)

#### 復興調整部

- ▶ 主な業務: 国、自治体と連携した復興本社の戦略立案、地域からのご要望への対応策の立案
- ▶ 設置場所: 東京・福島

#### 企画総務部

- ▶ 主な業務: 復興本社諸計画の策定、各所と連携した地域対応
- ▶ 設置場所: Jヴィレッジ

#### 福島原子力補償相談室

- ▶ 主な業務: 賠償業務(円滑かつ早期の貫徹)
- ▶ 設置場所: 福島市(総括箇所)

#### 除染推進室

- ▶ 主な業務: 除染業務(国・自治体等による除染の実施・その後のフォローにおける人的・技術的貢献 等)
- ▶ 設置場所: 福島市(総括箇所)

#### 復興推進室

- ▶ 主な業務: 復興推進業務(帰還に向けた清掃・片付けや農業・商業再開など県内における人的貢献 等)
- ▶ 設置場所: 福島市(総括箇所)

#### 福島広報部

- ▶ 主な業務: 広報業務(県内の原子力・火力・水力発電所ならびに賠償・除染・復興推進の状況の広報活動 等)
- ▶ 設置場所: 福島市(総括箇所)、Jヴィレッジ

#### 各事務所

- ▶ 福島市・いわき市・郡山市・会津若松市・南相馬市

福島県内の猪苗代電力所、浜通り電力所、広野火力発電所、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所との協力体制を構築

本資料は、第三版(2014年12月発行)に記載した内容に、その後の取り組みの追加や実績の更新等を行い、改めてとりまとめました。※各取り組みの右上に「新規」「更新」の表示あり

## 復興推進活動

	(ページ)
1. 清掃・片付け	3
2. 荷物運搬・整理	5
3. 除草作業	8
4. 仮設住宅の除雪	10
5. 営農再開等に向けた対応	11
6. 天神岬公園内あやめ池の泥除去	14
7. イベント対応	15
8. 一時帰宅対応	18
9. 介護研修会(講師派遣等)	19
10. 福島県内への派遣活動と安全教育	20

## 除染推進活動

1. モニタリングへの対応	21
2. 国直轄除染への対応	25
3. 市町村除染への対応	28
4. 廃棄物対策等	30
5. 技術開発・検討	31
6. 帰還に向けた放射線の不安低減に向けた取り組み	34
7. 除染加速化に向けた取り組み	34

## 原子力損害賠償について

1. 組織体制	35
2. 補償相談センター	35
3. 補償相談コールセンター	36
4. 補償推進ユニット	36

## 福島県産品購入の取り組み

1. 社内販売会	37
2. 社外販売会	37
3. ふくしま応援企業ネットワーク	38
4. ふくしま応援企業ネットワーク定時総会	38

## 活動実績

1. 復興・除染推進活動の実績	39
-----------------	----

## 清掃・片付け（海水浴場）

更新

- 実施日: 2015年7月8日、9日、2014年7月19日
- 実施場所: 福島県 いわき市 勿来海岸
- 実施内容: 勿来海岸の海水浴場の海開きに向け、砂浜(約400m)や周辺施設のごみ拾い等の清掃活動を実施。
- 実績: 65人が実施(2015年度45人, 2014年度20人)。



勿来海岸の清掃の様子【2015年7月8日】

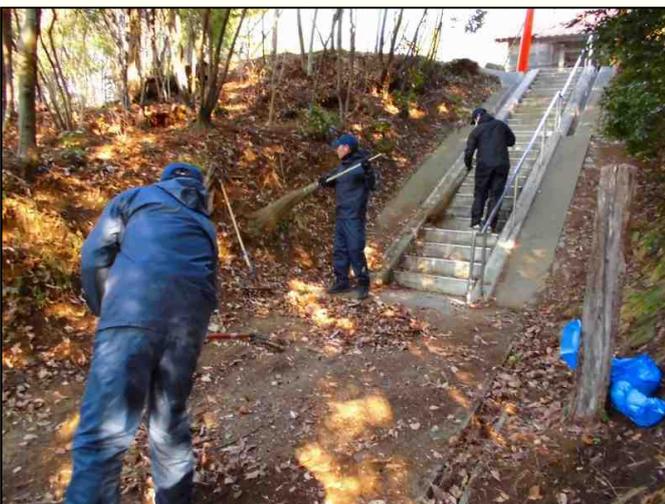


勿来海岸の清掃の様子【2014年7月19日】

## 清掃・片付け（神社）

更新

- 実施日: 2014年7月14日、15日、12月5日～12月26日(うち15日間)
- 実施場所: 福島県 大熊町、双葉町、檜葉町、広野町、南相馬市、相馬市
- 実施内容: 境内や鳥居周辺などの清掃・除草および、初詣に向けたのぼり立てなどを実施。
- 実績: 社員 延べ590人が実施(7月28人、12月562名)。



落ち葉清掃の様子(檜葉上繁岡八幡)【2014年12月】



のぼり立ての様子(檜葉八幡神社)【2014年12月】

## 清掃・片付け（住宅）

更新

### ■実施日：

○広野町：2012年3月～    ○南相馬市：2012年4月～    ○檜葉町：2012年8月～  
○富岡町：2013年5月～    ○浪江町：2013年7月～    ○川内村：2013年7月～  
○川俣町：2014年2月～    ○大熊町：2014年5月～    ○田村市：2014年5月～  
○双葉町：2014年8月～    ○葛尾村：2014年10月～

### ■実施場所：福島県 川内村、富岡町、浪江町、檜葉町、広野町、南相馬市、川俣町、大熊町、田村市、双葉町、葛尾村

### ■実施内容：家屋内の片付け、清掃、屋外搬出を実施。

### ■実績：福島復興本社設立以降、11市町村合計で約2,600軒、延べ約35,500人が実施（2015年7月末）。



片付けの様子【2015年7月5日】



片付け前の様子【2015年7月5日】



片付け後の様子【2015年7月5日】

## 荷物運搬・整理（図書館）

新規

- 実施日：2015年3月4日
- 実施場所：福島県 双葉町 双葉町図書館
- 実施内容：震災により散乱した書籍類の整理および館内の清掃を実施（1階図書館、2階職員室）
- 実績：35人が実施。



書類整理前の様子【2015年3月】



書類整理後の様子【2015年3月】

## 荷物運搬・整理（公民館）

新規

- 実施日：2015年3月25日～3月27日
- 実施場所：福島県 楡葉町公民館、楡葉町コミュニティセンター
- 実施内容：震災後、楡葉町コミュニティセンターに仮置きしていた備品を、災害復旧工事が完了した公民館へ運搬し、格納（震災前の保管状態に復元）。
- 実績：延べ60人が実施。



公民館の作業前の様子【2015年3月】



公民館の作業後の様子【2015年3月】

## 荷物運搬・整理（中学校）

- 実施日：2014年7月28日
- 実施場所：福島県 広野町
- 実施内容：来春開校する双葉郡の中高一貫校の仮校舎となる広野中学校から荷物運搬（校舎から教材・机・椅子等の運び出し）を実施。
- 実績：9人が実施。



校舎から机等の運び出しの様子【2014年7月28日】

## 荷物運搬・整理（小中学校）

- 実施日：2014年3月25日～3月28日
- 実施場所：福島県 いわき市 双葉小・中学校
- 実施内容：約3,000冊80箱の図書用の棚作成や図書の荷下ろしおよび整理を実施。
- 実績：3日間延べ24人が実施。



図書の運搬および整理の様子【2014年3月】

## 荷物運搬・整理（小中学校）

- 実施日：2014年2月26日～3月27日
- 実施場所：福島県 田村市内（古道小学校、岩井沢小学校、都路中学校、都路こども園）
- 実施内容：2014年4月1日に都路町の避難指示が解除され、再開する小中学校等へ備品等の運搬・整理を実施。（10tトラック換算で約10台分の荷物）
- 実績：5日間延べ53人が実施。



備品等運搬の様子【2014年3月】

## 荷物運搬・整理（町役場）

- 実施日：2014年5月29日、11月18日
- 実施場所：福島県 双葉町内
- 実施内容：双葉町の役場本庁舎に保管されている書類の箱詰め・線量測定・搬出を行い、いわき事務所のあるいわき市内へ運搬。
- 実績：98人（5月 52人、11月 46人）が実施。



書類の線量測定・搬出の様子【2014年5月】

## 除草作業（小学校）

新規

- 実施日：2015年5月19日～5月21日
- 実施場所：福島県 檜葉町 檜葉南小学校
- 実施内容：檜葉町教育総務課さまよりご要請をいただき、檜葉南小学校の再開準備に向けて校庭の除草を手摘みで実施。
- 実績：延べ178人が実施。



除草前の様子【2015年5月】



除草後の様子【2015年5月】

## 除草作業（住宅等への進入路）

更新

- 実施日：2013年9月24日～実施中
- 実施場所：福島県 双葉町：延べ約650箇所・約10人／日、大熊町：延べ約1,800箇所・約20人／日  
檜葉町：延べ約100箇所・約5人／日
- 実施内容：公道から住宅への進入路および駐車スペースで支障になっている箇所の除草を実施。
- 実績：約840日間延べ約10,300人が実施(2015年7月末)。



除草前の様子(双葉町)



除草後の様子(双葉町)

## 除草作業（墓地）

更新

- 実施日：2013年3月2日～9月20日、2014年1月31日～9月12日
- 実施場所：福島県 大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、浪江町、楡葉町、双葉町  
※大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、楡葉町は2013年7月から活動実施。
- 実施内容：墓地の除草および清掃を実施。
- 実績：約560日間延べ約9,400人が実施。



除草中の様子【2014年7月25日】



除草後の様子【2014年7月25日】

## 除草作業（国道沿線）

- 実施日：2014年11月1日～11月16日
- 実施場所：福島県 浪江町  
国道114号線沿線両側（浪江I.Cから常磐線陸橋まで片道2.5km）
- 実施内容：浪江町からご要請をいただき、常磐道開通に向け国道114号線の浪江I.Cから市街地中心部までの沿線における柳の伐採及び除草を実施。
- 実績：14日間延べ約300人が実施。



除草前の様子【2014年11月1日】



除草後の様子【2014年11月5日】

## 仮設住宅の除雪

更新

- 実施日: 2014年12月15日～2015年3月12日
- 実施場所: 福島県 会津若松市、会津美里町内の大熊町・楡葉町仮設住宅の13箇所
- 実施内容: 仮設住宅の屋根の雪下ろしや、生活通路確保のための敷地内除雪等を実施。
- 実績: 60日間、延べ約1,300人が実施。



仮設住宅の除雪の様子【2015年2月】



除雪前の様子【2015年1月】



除雪後の様子【2015年1月】

## 営農再開等に向けた対応（除草・泥上げ）

新規

- 実施日：2015年3月6日～4月9日（うち8日間）
- 実施場所：福島県 いわき市久之浜町金ヶ沢地区
- 実施内容：稲作再開のため、今春の作付けに間に合うよう農業用水路の機能を回復（泥あげ）。  
周辺の除草を実施。
- 実績：延べ36人が実施。



除草・泥上げ前の様子【2015年3月】



除草泥上げ後の様子【2015年3月】

## 営農再開等に向けた対応（大規模侵入防止柵の設置）

新規

- 実施日：2015年3月23日～5月16日
- 実施場所：福島県 南相馬市
- 実施内容：野生動物（イノシシや猿など）の田畑への侵入による被害を防止するため、田畑周囲に大規模侵入防止柵およびを設置。
- 実績：18日間延べ約138人が実施。



電気柵設置の様子【2015年4月】

## 営農再開等に向けた対応（畑の復旧）

更新

- 実施日：2014年10月1日～10月31日、2015年6月2日～6月10日
- 実施場所：福島県 川俣町山木屋地区4地点(2014年10月)2地点(2015年1月)
- 実施内容：川俣町原子力災害対策課からご要請をいただき、ユキヤナギ畑の復旧に向けユキヤナギ畑内の除草を実施(ユキヤナギ株周辺は手摘みによる除草)
- 実績：延べ約180人が実施(2014年10月 100人 2015年6月 80人)。



除草中の様子【2015年6月】



除草後の様子【2015年6月】

## 営農再開等に向けた対応（電気柵の点検）

- 実施日：2013年9月4日～10月25日、2014年5月12日～10月8日
- 実施場所：福島県 田村市 都路町
- 実施内容：イノシシなどの野生動物侵入による被害の防止のために、田畑に設置した電気柵の状況確認や電圧測定を実施。
- 実績：約200箇所 72日間延べ約260人が実施。



電気柵の電圧測定の様子【2013年9月17日】

## 営農再開等に向けた対応（牛舎の清掃）

- 実施日：2014年3月17日～3月19日
- 実施場所：福島県 田村市
- 実施内容：牛舎内の糞・牛ふんを集めて廃棄を実施。壁や柵など牛が舐めるおそれのある箇所について消毒を実施。
- 実績：3日間延べ14人が実施。



牛舎内の清掃や消毒の様子【2014年3月】

## 営農再開等に向けた対応（ビニールハウスの解体）

- 実施日：2014年3月13日～3月31日
- 実施場所：福島県 田村市 都路町
- 実施内容：2014年2月の大雪により破損したビニールハウスの解体（11棟）を実施。
- 実績：6日間延べ約140人が実施。



ビニールハウス解体の様子【2014年3月】

## 天神岬公園内あやめ池の泥除去

新規

- 実施日：2015年2月12日～3月19日（12日間）
- 実施場所：福島県 檜葉町 天神岬公園内あやめ池
- 実施内容：檜葉町よりご要請をいただき、あやめ池の改修工事前の泥あげ（土嚢袋へ格納／3,000袋超）および運搬を実施。
- 実績：延べ204人が実施



作業の様子【2015年2月】



泥上げ前の様子【2014年2月】

泥上げ後の様子【2014年2月】

## イベント対応（第6回「いわきサンシャインマラソン」）

- 実施日：2015年2月7日～8日
- 実施場所：福島県 いわき市内
- 実施内容：いわき市からご要請をいただき、開催前日の会場設営、また、大会当日の臨時駐車場の交通誘導（全39カ所の内14カ所）や撤収・清掃活動等を実施
- 実績：2日間延べ104人が実施。

新規



会場周りの準備の様子【2015年2月】



駐車場誘導の様子【2015年2月】

## イベント対応（ならは雪まつり）

- 実施日：2015年2月5日～7日
- 実施場所：福島県 会津美里町 榎葉町宮里応急仮設住宅の多目的広場
- 実施内容：滑り台・雪だるま・かまくら・雪像などを自治会の皆さまと作成。
- 実績：3日間延べ58人が実施。

新規



かまくら・雪像作成の様子【2015年2月】

## イベント対応（なみえ復興祭 2015春）

新規

- 実施日：2015年4月10日～12日
- 実施場所：福島県 相馬市 大野台第八応急仮設住宅
- 実施内容：「なみえ復興祭2015春」の開催前日の会場設営、復興祭当日の受付および駐車場の交通誘導、開催後の後片付けを実施。
- 実績：延べ24人が実施。



復興祭の様子【2015年4月】



受付の様子【2015年4月】

## イベント対応（川俣シャモ祭りin四季の里）

更新

- 実施日：2015年4月24日～26日（2014、2013年も実施）
- 実施場所：福島県 福島市 四季の里
- 実施内容：会場の設営や撤収、シャモ焼き、ゴミ拾い等を実施。
- 実績：3日間延べ36人が実施。



会場の様子(シャモ焼き)【2014年8月】



後片付けの様子【2015年4月】

## イベント対応（伊達ももの里マラソン）

- 実施日：2014年8月31日（2013年も実施）
- 実施場所：福島県 伊達市
- 実施内容：給水所の事前準備や給水対応、マラソン終了後の清掃および片づけを実施。
- 実績：55人が実施。



給水所の対応の様子【2014年8月31日】



終了後の清掃および片づけの様子【2014年8月31日】

## イベント対応（いわき花火大会・いわき踊り小名浜大会）

- 実施日：2014年8月1日、8月2日（2013年も実施）
- 実施場所：福島県 県道平小名浜線（鹿島街道）、いわき市小名浜港アクアマリンパーク
- 実施内容：会場設営、交通誘導、会場撤収を実施。
- 実績：2日間延べ40人が実施。



会場設営の様子【2014年8月】

## 一時帰宅対応

更新

■実施日：2011年5月23日～

■実施場所：福島県 富岡町(毛萱・波倉)・浪江町(高瀬、津島)

■実施内容：帰還困難区域の市町村住民の方々がマイカーまたは、マイクロバスで一時帰宅される際、中継基地における住民の受付時(防護服・線量計配布)、帰着時(線量測定)の対応を実施。

■実績：10～60人程度／日・箇所

福島復興本社設立以降、延べ約51,000人が実施(2015年7月末)。



車両の誘導の様子【2012年2月15日】



車両の誘導の様子【2012年12月3日】



車両の線量測定の様子【2013年10月22日】



車両の誘導の様子【2013年10月22日】

## 介護研修会（講師派遣等）

更新

■実施日：2013年5月20日～

■実施場所：福島県内で避難されている方々がお住いの市町村（いわき市、郡山市、南相馬市等）

■実施内容：

- 福島県をはじめ、13市町村※1を対象に、ご説明・ご提案や研修会活動を実施。
  - 避難生活を余儀なくされている高齢者の方およびその介護に携わるご家族を対象として、健康の維持や介護状態の悪化防止に関するサロンイベントや勉強会を実施。また、介護職員の方々を対象とした介護技術研修会も実施。
- 各講師はグループ会社※2の介護福祉士等

■実績：

- サロン企画・運営41回 [参加者：531人]
  - 住居向け勉強会28回 [参加者：817人]
  - 介護技術研修会49回 [参加者：1,177人]
- ※1回あたりの参加者数：10～30人程度

〔合計 146回 [参加者：約2,525人]  
(2015年7月末現在)〕

※1 13市町村とは、飯舘村、いわき市、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、田村市、富岡町、浪江町、楢葉町、広野町、双葉町、南相馬市

※2 グループ会社とは、東電パートナーズ(株)  
事業内容は介護保険事業およびこれに関する研修事業・訪問介護・デイサービス・福祉用具のレンタル等



【サロン企画・運営(すき焼きじゃんけん)】



【介護勉強会(ベッドからの起き上がり介助)】



【介護技術研修会(接遇マナー)】



【介護技術研修会(介助実習)】

## 福島県内への派遣活動

- 実施日:2011年5月～
  - 実施内容:復興推進活動のため、本社や各事業所・発電所等から、バスで福島県内へ社員を派遣。  
活動拠点としているJヴィレッジでは、活動に必要な情報共有のためガイダンスや研修を実施。
  - 実績:ほぼ毎日、片道数時間かけて1台のバスに約35名の社員が乗車  
(最大1日3台運行実績有り)
- 【参考】乗車時間:東京→Jヴィレッジ 約3時間半 / 柏崎刈羽原子力発電所→Jヴィレッジ 約5時間、1日平均200人以上の社員が、福島県内各地で復興推進活動に取り組んでいる。



バスへ乗り込む社員達(東京:鍛冶橋)【2013年11月29日】

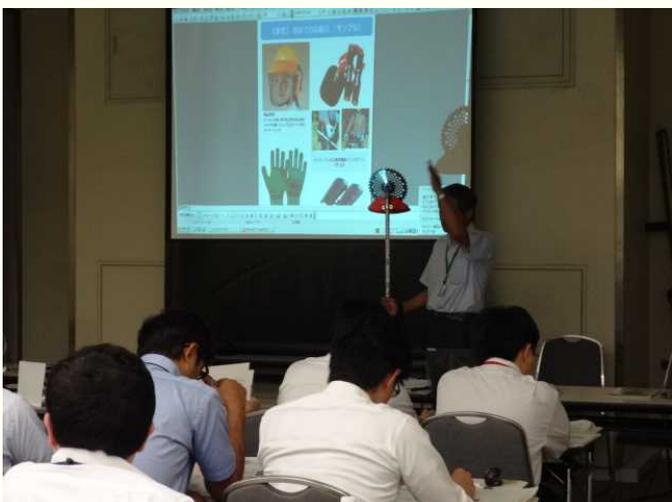


ガイダンスの様子(Jヴィレッジ)【2013年7月8日】

## 刈払機の安全教育

更新

- 実施日:2013年4月～
- 実施内容:除草作業に使用する刈払機の使用にあたっては、事前に安全教育(座学・実技)を実施し、福島県内の各地へ社員を派遣している。
- 実績:受講者数は延べ約29,300人(2015年7月末)。



刈払機の安全教育(座学:本店)【2014年7月31日】



刈払機の安全教育(実技:Jヴィレッジ)【2014年8月8日】

## モニタリングへの対応（常磐自動車道）

新規

- 実施日：2014年10月21日～2015年1月27日（内17日間）
- 実施場所：常磐自動車道 広野IC～南相馬IC間(49.1km)及びならはPA  
国道288号及び県道35号の一部(15.1km(帰還困難区域:6.5km))
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請を受け、常磐自動車道 常磐富岡IC～浪江IC間の開通に向けて、自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するため、当該高速道路等の空間線量率の測定を実施。
- 実績：17日間延べ26人が実施。



【ならはPA歩行モニタリングの様子】



【走行モニタリングの様子】



(写真は別の走行モニタリング)

### ■新たに開通・通行可能となった区間の空間線量率マップ■

- 測定値 < 1.0
  - 1.0 ≤ 測定値 < 1.9
  - 1.9 ≤ 測定値 < 3.8
  - 3.8 ≤ 測定値 < 9.5
  - 9.5 ≤ 測定値 < 19.0
  - 19.0 ≤ 測定値
- ※単位は全てμSv/h



#### 国道288号及び県道35号 (②,③)

当該区間を時速40kmで自動車  
が1回通行する際に運転手等が  
受ける被ばく線量は0.28μSv

#### 常磐自動車道(①) (常磐富岡IC～浪江IC間)

当該区間を時速70kmで1回  
通行する際に運転手等が受ける  
被ばく線量  
自動車:0.17μSv  
自動二輪車:0.21μSv

#### ならはPA

空間線量率  
上り線側:0.08～0.15μSv/h  
下り線側:0.08～0.41μSv/h

当該PAを利用する運転手等が  
車外に20分間滞在で受ける被ばく  
線量  
上り線側:0.05μSv  
下り線側:0.14μSv

## モニタリングへの対応（除染工事車両）

新規

■実施日：2012年2月29日～2015年3月31日

■実施場所：福島県 川内村、浪江町、田村市、大熊町

■実施内容：

○環境省からの要請を受け、除染特別地域における作業エリア内から除染工事車両が退出する際のスクリーニングに対応。

■実績：延べ12,722人が実施(2013年1月の除染推進室設置以降では延べ7,092人)



【除染工事車のスクリーニングの様子】

## モニタリングへの対応（JR常磐線）

新規

■実施日：2014年12月3日～12月19日(内5日間)

■実施場所：JR常磐線 富岡駅～浪江駅間

■実施内容：

内閣府原子力災害対策本部からの要請により、JR常磐線の早期復旧に向けた検討のため、富岡駅から浪江駅間における、空間線量率分布の調査を実施。

帰還困難区域を中心とする約20kmの区間において、線路上での歩行モニタリングや指定された地点での線路横断方向の定点測定を実施。

■実績：5日間 延べ23人が実施



【歩行モニタリング装置を用いた測定】



【電離式サーベイメータを用いた測定】

モニタリングマップ  
歩行モニタリング結果  
地上1m：2014.12.3～12.5

## モニタリングへの対応（道路）

更新

■実施日：2013年1月9日～継続中（2015年6月末現在、第21巡目まで終了）。

■実施内容：

○内閣府・原子力規制委員会からの要請により、福島県内の避難指示区域の主要道路（約1,600km）を走行サーベイ実施。1巡あたり5週間程度、計測走行。計測データを提出後、国から公表。

○2011年8月に実施した第1巡目より継続的に対応。

■実績：2013年1月以降、延べ約890名が実施。



【走行サーベイの様子】



【走行サーベイの様子】

## モニタリングへの対応（JR常磐線）

■実施日：2014年5月2日、10日

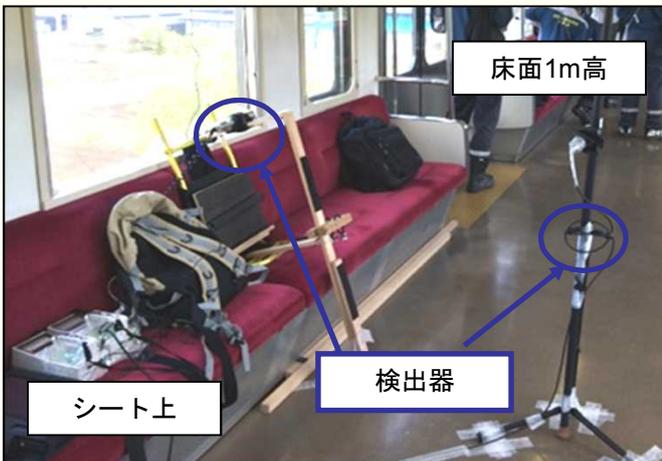
■実施場所：JR常磐線 広野駅～竜田駅間 8.5km

■実施内容：

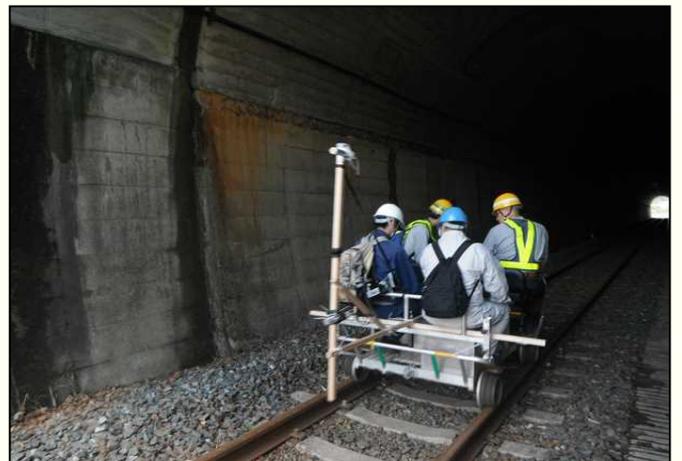
○内閣府より、JR常磐線（広野駅～竜田駅間）の運転再開に向け、同区間を走行する列車内及び線路上（車外）での放射性物質の影響調査の要請を受けモニタリングを実施。

○運転再開後の安心情報として、列車中央で立っている状態・シートに座った状態での乗客を模擬し、各々の位置での計測結果をご提供。

■実績：2日間延べ8人が実施。



【車体内モニタリングの様子】



【軌道上モニタリングの様子】

## モニタリングへの対応（国道6号）

■実施日：2014年4月4日～4月25日、6月13日～8月15日

■実施場所：国道6号 広野～南相馬間（片道約42.5km）  
 県道36号 常磐富岡IC～国道6号線（片道4.7km）

■実施内容：

○2014年4月に環境省からの要請を受け、国道6号の帰還困難区域における除染工事着手に向け、道路の状況確認、線量測定や道路除染方法の検討を実施。

○2014年6月に内閣府原子力災害現地対策本部からの要請を受け、2014年8月に国道6号及び県道36号において、同区間を車両で通行する方の被ばく線量等を確認するため、モニタリングカーによる空間線量率の測定を実施。

（9月12日原子力災害対策本部HPでも公表）

■実績：22日間延べ74人が実施。



【現場調査の様子】

凡例	
◆	測定値 < 1.0 $\mu$ Sv/h
◆	1.0 ≤ 測定値 < 1.9 $\mu$ Sv/h
◆	1.9 ≤ 測定値 < 3.8 $\mu$ Sv/h
◆	3.8 ≤ 測定値 < 9.5 $\mu$ Sv/h
◆	9.5 ≤ 測定値 < 19.0 $\mu$ Sv/h

国道6号[上り：南相馬→広野]  
 空間線量率測定結果（2014. 8. 12）



モニタリングマップ

## モニタリングへの対応（学校）

■実施日：2014年4月2日、4月3日

■実施場所：福島県 田村市 都路町（学校施設5箇所）

■実施内容：

○田村市からのご要請により、4月1日の避難指示解除後に学校施設が再開されることに伴い、施設のモニタリングを実施。

○測定の結果、ご安心して頂くデータを提供することができた。

■実績：2日間延べ14人が実施。



【学校施設モニタリングの様子】



【学校施設モニタリングの様子】

## 国直轄除染への対応（帰還に向けた施策）

新規

■実施日：2014年5月12日～2015年4月28日

■実施場所：福島県 川内村（下川内）

■実施内容：

○環境省からの要請により、川内村の旧居住制限区域及び旧避難指示解除準備区域において、住民の方々の帰還や安心のために国が実施するフォローアップ除染に向け、現地調査等を実施。

■実績：延べ約798名が実施。



【現地調査状況（家屋付近）】



【現地調査状況（庭木付近）】

## 国直轄除染への対応（拠点除染）

新規

■実施日：2014年9月4日～12月1日（内39日間）

■実施場所：福島県 双葉町

■実施内容：環境省からの要請により、双葉町の帰還困難区域において、コミュニティセンターや電話基地局等の復興拠点の除染工事実施に向け、当該施設の現地調査を実施。

■実績：延べ130人が実施。



【現場調査状況（地表面の汚染密度の測定）】



【現場調査状況（除染範囲把握のための測定）】

## 国直轄除染への対応（宅地）

■実施日：2014年5月8日～10月31日

■実施場所：福島県 川俣町 山木屋地区

■実施内容：

○環境省からの要請により、川俣町山木屋地区の除染作業が終了した宅地※1において、局所的に線量の高い箇所の有無を確認するためのモニタリングを実施。

※1 宅地及びその近隣の有無を確認するためのモニタリングを実施。

■実績：117日間延べ552人が実施。



【モニタリングの様子】



川俣町山木屋地区  
本格除染の進捗（2014年10月末時点）  
出典：環境省 除染情報サイトより

## 国直轄除染への対応（墓地）

■実施日：2014年7月4日～7月26日

■実施場所：福島県 飯舘村 長泥地区

■実施内容：

○環境省からの要請により、墓地3箇所（計約8,000m<sup>2</sup>）の除染工事において、現場の工事監督業務を実施。

■実績：17日間延べ52人が実施。



【砂利の剥ぎ取り前立ち会いの様子】



【除染作業（表土剥ぎ）の様子】

## 国直轄除染への対応（仮置場の管理状況確認）

■実施日：2014年1月～6月

■実施内容：

○環境省からの要請により、除染特別地域内に設置された国が管理する仮置場について、目視による外観確認や線量測定等の現地確認を実施。

■実績：54日間延べ302人が実施。



【仮置場調査の様子】



【遮蔽土のう状態調査の様子】

## 国直轄除染への対応（常磐自動車道）

■実施日：2012年11月16日～2013年10月31日

■実施場所：常磐自動車道（富岡町～南相馬市間）約21km

■実施内容：

○工事監督員として、2012年11月より工事監理業務に対応。

○工事の設計資料等の作成の他、工事監理時の品質面や安全面に対応。

○除染作業は無災害で2013年6月末に終了し、10月末には仮置場整備、除染後モニタリングを実施。

○工事監督経験を踏まえ、今後環境省が進める除染活動の加速化に力を注いでいく。

■実績：延べ約1,500人が実施。



【法面コンクリート部高圧水洗浄の様子】



【橋梁部ブラスト作業の様子】

## 市町村除染への対応（宅地）

新規

- 実施日：除染作業中：2013年11月18日～2015年3月13日（内140日間）  
除染終了後：2014年11月17日～2015年6月11日（内64日間）
- 実施場所：福島県 桑折町
- 実施内容：桑折町さまからのご要請により、同町の管理基準に基づく住宅の除染作業を2015年3月までに終了するため、同町の管理業務補助として延べ800軒弱の除染作業中および終了後の線量等の状態確認に対応。
- 実績：延べ420人が実施（除染作業中では延べ303人、除染終了後は延べ117人）



【現場調査状況（地表面の汚染密度の測定）】



【現場調査状況（除染範囲把握のための測定）】

## 市町村除染への対応（学校施設）

- 実施日：2014年8月29日～9月12日
- 実施場所：福島県 西郷村内学校施設
- 実施内容：西郷村からのご要請により、村内学校施設4校における植栽・側溝等の除染作業を実施。  
※作業実施箇所空間線量低減率（地上50cm）：50.2%～15.0%の低減
- 実績：12日間延べ172名が実施。



【除染作業の様子（植栽前）】



【除染作業の様子（隣接する林緑部）】

## 市町村除染への対応（公共施設）

更新

- 実施日：2014年10月27日～11月5日
- 実施場所：福島県 古殿町 三株高原広場
- 実施内容：古殿町からのご要請により、震災以降初となる来年の山開きに向け、三株山を訪れた方が広場でのキャンプ・催し物等を安心して楽しんで頂けるよう、除染作業を実施。

※作業実施箇所の空間線量低減率（平均値）：14.0%

- 実績：7日間延べ82人が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年8月20日～9月5日
- 実施場所：福島県 古殿町 芝山自然公園
- 実施内容：
  - 古殿町からのご要請により、地元の人々にも大切にされ「福島緑の百景」にも選ばれている芝山自然公園について除染作業を実施。

○作業前後の空間線量率（平均値）：  
0.86  $\mu$  Sv/h→0.50  $\mu$  Sv/h（低減率：42%）

- 実績：10日間延べ129人が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年8月19日～8月25日
- 実施場所：福島県 大玉村 織井の清水（史跡）
- 実施内容：
  - 大玉村役場からのご要請により、由緒ある湧水「織井の清水」周辺の除染作業を実施。

○作業前後の空間線量率（平均値）：  
0.30  $\mu$  Sv/h→0.25  $\mu$  Sv/h（低減率：17%）

- 実績：5日間延べ39人が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年6月5日～7月1日
- 実施場所：福島県 大玉村 北部ふれあいセンター
- 実施内容：大玉村役場からのご要請により、地域住民の方々が利用される公共施設の除染作業を実施。

- 実績：14日間延べ94人が実施。



【除染作業の様子】

## 滞留牛ふん堆肥流通回復への取り組み

更新

■実施日：2013年5月23日(初回運搬)～

■実施内容：暫定許容値(400Bq/kg)以下の滞留堆肥の流通を促進させるため、県及び地元自治体等が、各地域の滞留堆肥供給者と受け入れ先とのマッチングの調整を行い、当社が堆肥の運搬・散布作業の手配とその委託費用のお支払いを実施。

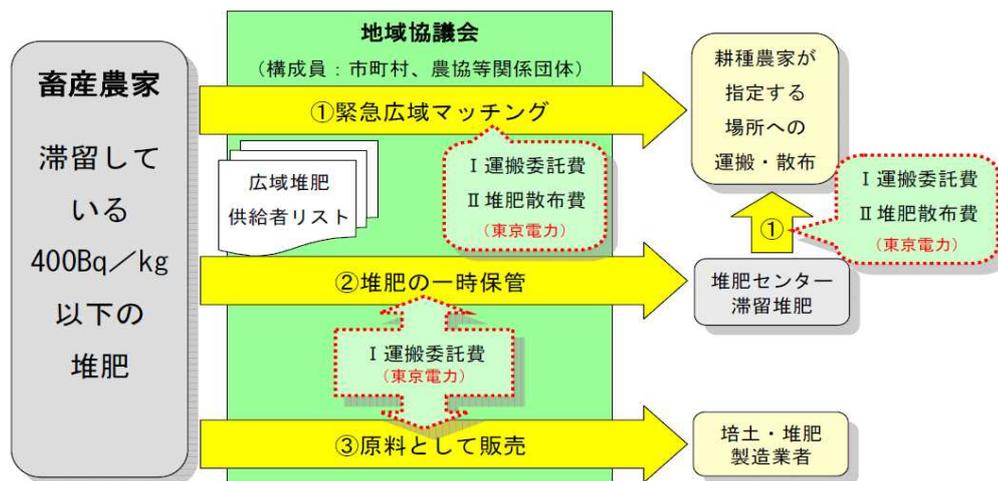
■取組実績：県内15の地域協議会等と実施協定を締結し、一昨年春より各地域で実施し、滞留解消目標量9万7千トンの内、累計約7万7千トンの滞留堆肥を解消(2015年7月末)



【堆肥散布の様子】

## 滞留牛ふん堆肥流通回復への取り組み

【暫定許容値400Bq/kg以下の牛ふん堆肥の滞留解消に関する支援等について<イメージ図>】



### ○ 出口対策

- ① 緊急広域マッチング; 従来の枠組みを超えた広域・長距離流通に緊急に取り組む
- ② 堆肥の一時保管; 畜産農家の堆肥舎から堆肥センターへの搬送
- ③ 培土等原料として販売; 畜産農家の堆肥舎から培土・堆肥製造業者へ搬送

### ○ 東京電力による支援の考え方

- I 運搬委託費; 運送業者に委託する経費。東京電力が運送業者を手配し、運送費を業者に支払う等
- II 堆肥散布費; 堆肥散布作業を委託する経費。東京電力が作業業者を手配し、散布経費を作業業者に支払う等 (福島県公表資料をもとに作成)

新規

■開発期間:2011年12月～2012年10月

■概要 要:放射線と光のアナロジー(類似性)を活用して、見えない放射線に見える光(可視光)に置き換えることで、放射線の性質・除染の効果・被ばく線量とはどのようなものか理解するための支援ツール。

■活用・展開:○放射線等に関するリスクコミュニケーション用ツールとしてご活用頂くため、2014年9月以降、除染情報プラザに模型を展示中。

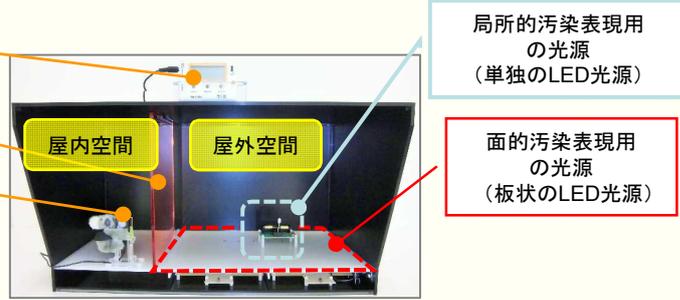
○新たに可搬性を向上し、2015年6月より、放射線教育教材としてご活用頂くため、教育機関等へ紹介を実施中。

実際	ツール
放射性物質	LED光源
放射線	可視光
放射線測定器	照度計
個人線量計	照度計(積算機能)
建物の壁	アクリル板

照度計(表示部)

アクリル板

照度計(測定部)



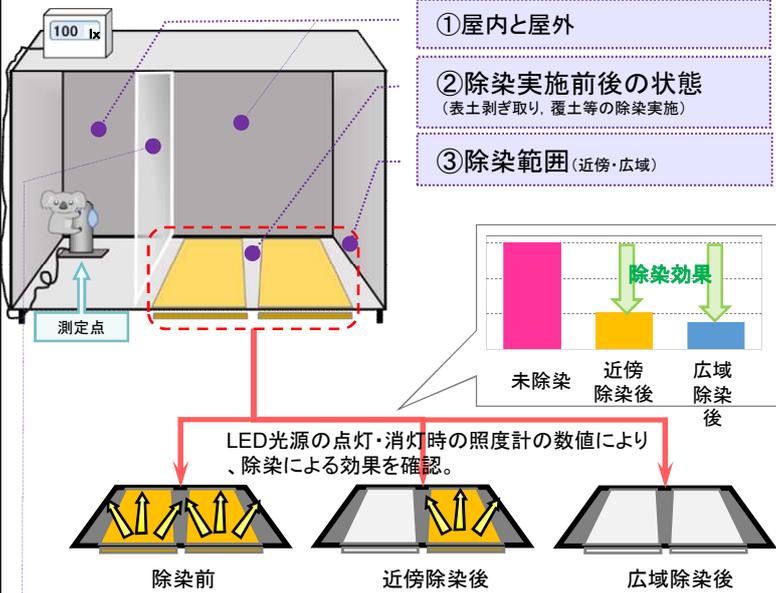
【仕様】

本体; サイズ 540×340×300mm 付属品; 照度計 (※積算機能有)  
 材質 アクリル樹脂 LED光源 (板状・単独)  
 アクリル板 (白・曇りガラス調等)

※ 被ばく線量の算出に用いる

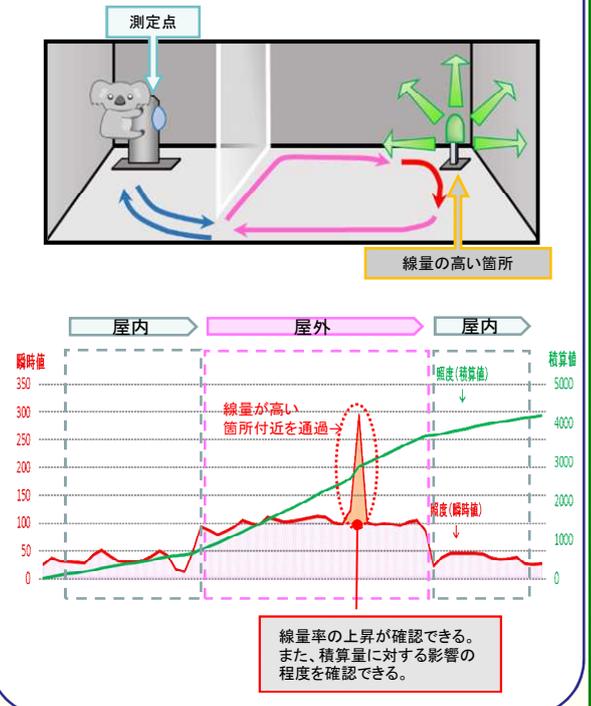
空間線量率についての理解を支援

■ 除染前後の空間線量率の変化を、LED光源の点灯・消灯の組合せにより照度として観察。



被ばく線量についての理解を支援

■ 行動することによる被ばく線量の変化を、測定点を模型内で移動させることにより照度として観察。



④ 建物による遮へい

■ 建物の材質や厚みの違いによる屋内での除染前後の空間線量率の変化を、アクリル板を変えることにより照度として観察。



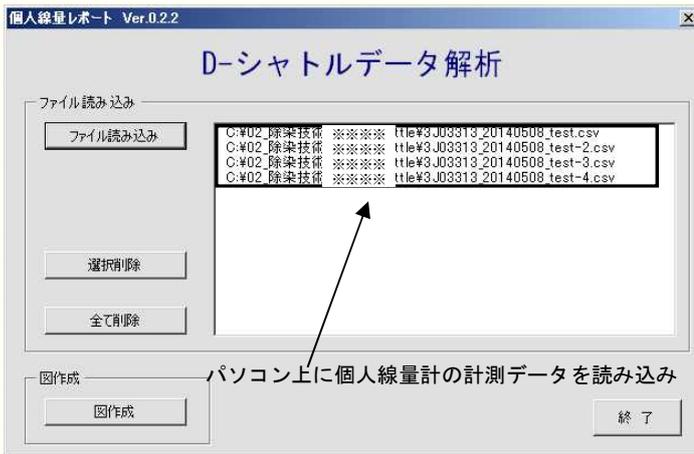
## 技術開発・検討（個人線量計のデータ解析プログラム提供）

■実施時期: 2014年5月13日～

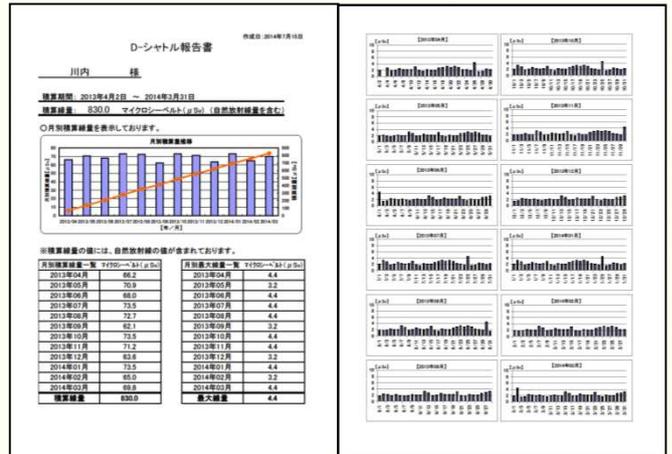
■提供先: 福島県 川内村

■実施内容:

- 帰還に向けた準備宿泊において、川内村は個人線量計を住民の方々に配付している。
- 同村からのご要請にもとづき、個人線量計で計測されたデータを解析し、わかりやすい報告書形式で出力するためのプログラムを作成・提供。
- 現在、川内村にて報告書を作成し、住民の方々向けの放射線に関する健康相談等に活用していただいている。また、追加のご要望もあり、プログラム改良等の対応を継続中。



【プログラム画面】



## 技術開発・検討（個人線量計測手法の検討）

■実施時期：2013年1月～

■実施内容：

- 放射線による被ばくの影響を判断するためには、個々人の一日の行動パターンと被ばく線量との関係をより詳細に分析することが大事であると考え、個人線量の計測手法の検討や個人線量計の改良を実施（※個人線量計の改良については、富士電機（株）と共同で実施）。
- 具体的な改良点は、①計測単位： $1 \mu\text{Sv}/\text{分}$ → $0.001 \mu\text{Sv}/\text{分}$  ②電池寿命を30時間→50時間 ③データ記録数：1,000件→9,000件。



【計測手法検討の様子】



サイズ：W120×H46×D15 mm

【改良した個人線量計】

## 技術開発・検討（指向性モニタリング装置の開発）

■実施時期：2012年4月～

■実施内容：

- 従来のモニタリング機能に加え、どの方向からの空間線量率の影響が大きいか定量的に評価できれば、効果的な除染に繋がると考え、指向性を向上させたモニタリング装置を開発。
- 具体的な開発ポイントは、①指向性をもたせた空間線量率の測定方法とその装置の開発 ②効率的に全方位を評価する方法と測定結果の表示方法。



【測定の様子】



【開発した指向性モニタリング装置】

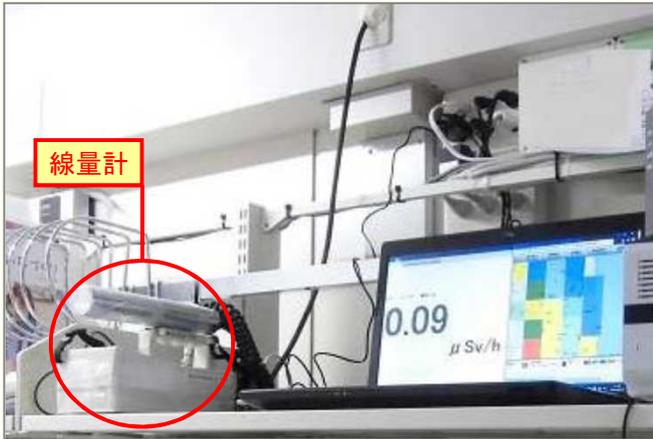
## 帰還に向けた放射線の不安低減に向けた取り組み

■実施時期: 2014年9月4日、9月12日

■実施場所: 福島県 浪江町

■実施内容:

- 環境省より、営業が再開されるコンビニエンスストアにおいて、お客さまに店内の空間線量率をリアルタイムでご確認頂く方法について相談を受け、当社が開発した空間線量率を連続計測するためのソフトをご提供。
- 当該ソフトを用いることにより、一般的な線量計の計測値を店内の大型モニターにリアルタイムで表示することが可能となり、同店を訪れるお客さまの安心に繋げることができた。



【測定器設置状況】



【店内線量表示状況】

## 除染加速化に向けた取り組み

■実施時期: 2014年5月29日～5月30日

■実施場所: 福島県 福島市

■実施内容:

- 住宅敷地内の汚染状況を短時間で正確に把握し、住民に分かりやすく示すことの出来る新技術の適用に関する福島市の検討に対し、当社からモニタリング手法を提案。
- 地表部分を確認するための歩行モニタリング装置、屋根・雨樋などの高所を確認するための高所点検カメラ・高所測定機器を提案し、実機を用いた現地試験の結果、新手法として採用頂くことが決定。

■実績: 2日間延べ10人が実施。



【歩行モニタリング】



【高所点検カメラ※】



【高所測定機器※】

※出典: 2014年6月15日「除染に関する有識者との意見交換会」福島市発表資料

## 迅速な原子力損害賠償に向けた組織体制

- 損害賠償の迅速かつ適切な実施のための方策「3つの誓い」を踏まえ、被害を受けられた皆さまに 早期に生活再建の第一歩を踏み出していただくため、約1万人体制で賠償を進めております。
- 今後も賠償の進捗に応じて必要な体制を弾力的に整備するとともに、業務の運用改善等を図ることにより、引き続き最大限努力してまいります。

更新



【福島原子力補償相談室配属前研修の様子】

### 福島原子力補償相談室(約1万人体制)

全  
体  
の  
支  
援  
・  
管  
理  
  
約  
4  
0  
0  
人

#### 補償相談ユニット

##### 補償相談センター

(13カ所) 約1,800人  
[内、福島県内は約1,400人]

##### 補償相談コールセンター

約400人

##### 補償推進ユニット

約7,400人

##### ADR・訴訟ユニット

約300人

## 補償相談センター

- 設置数: 13カ所 (福島県内に4カ所、福島県外に9カ所)
- 業務内容:
  - 説明会、相談窓口、事前審査、個別訪問、ご請求書等の受付、現地調査・説明。
  - 補償相談センターは相談窓口(16カ所)を設置し、ご請求者さまからのご相談を承ったり、説明会の開催やご請求者さまからのご要請等による個別訪問を行っています。
- 体制: 約1,800人 (内、福島県内は約1,400人)
- 実績: 窓口での受付対応件数 約463,600件、説明会開催件数 約1,100件、説明会へのご来場者数約24,400人、個別訪問件数 約67,900件 (復興本社設立以降2015年7月26日まで)。

更新



【相談窓口】



【個別相談ブース】(ご来場をお待ちしているところ)

## 補償相談コールセンター

更新

### ■業務内容:

- 賠償に関する電話での受付・説明・相談対応。
- 最後の一人まで適切に賠償を行うため、賠償未請求のご被害者さまへダイレクトメールや電話を通じて請求のご案内をしています。

### ■体制:約400人(年中無休、受付時間:9時~21時)

### ■実績:ご相談者さまからいただいたお電話の本数は約218万本 (コールセンター設立以降、2015年7月末までの累計)。



【補償相談コールセンターの様子】

## 補償推進ユニット

更新

### ■業務内容:

- ご請求書類等の発送、ご請求書の受領、ご請求書記載内容等確認、賠償額算定、賠償の考え方についてのご説明と協議、お支払い手続き。
- ご請求の確認には、「個人賠償」「法人賠償」「財物賠償」に大別した業務運営体制で迅速かつ公正な賠償の実施に努めております。

### ■体制:約7,400人



【補償推進ユニットの様子】

## 福島県産品販売促進活動（社内）

更新

- 実施日:2011年11月～
- 実施場所:東京電力本社・各事業所
- 実施内容:社員一人ひとりが福島県産品を購入するよう、本社をはじめ各事業所で福島県産品の社内販売会等を実施。
- 実績:約80事業所延べ330回程度開催（復興本社設立～2015年7月末現在）



本社販売会【2015年2月27日】



本社販売会【2015年6月19日】

## 福島県産品販売促進活動（社外）

更新

- 実施日:2013年9月～
- 実施場所:一般企業本社ビル・工場内等
- 実施内容:企業主催の社内販売会や夏祭り・イベント等での販売サポートを実施。
- 実績:18企業等31日間開催（復興本社設立～2015年7月末現在）



イベント【2014年11月21日～23日】



社内販売会【2015年6月10日】

## ふくしま応援企業ネットワーク【概要】

更新

- 東京電力が発起人となり、福島県産品や観光の風評被害払拭に向けた活動の輪を広げ、その活動の定着を図ることを目的に設立。
- 東京電力を含めて企業11社で構成し、2014年11月発足。

設立日 2014年11月18日(火) 設立総会

目的 会員企業が共同で運営し、福島県産品の購入促進や福島県内の観光施設等の利用促進を、組織的・継続的に展開することで、風評払拭に貢献すること。

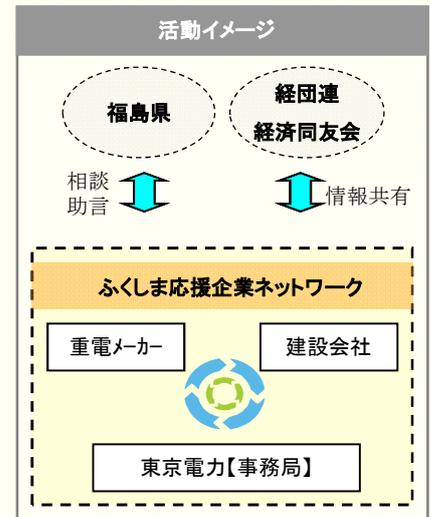
構成 東京電力が事務局となり、福島で廃炉作業等に携わり地域の実情を理解されている大手企業様10社と当社で発足。

(2015年8月現在 会員企業数当社を含め17※社)

- 活動
- ・福島県産品の購入促進(社員食堂の食材利用、内バザー等)
  - ・福島県内の観光促進
  - ・福島県産品の安全性についての理解活動
  - ・各企業が実施している活動事例の紹介と共有

発起人 東京電力(株) 福島復興本社代表 石崎 芳行

事務局 東京電力(株) 福島復興本社(Jヴィレッジ内)に設置



※会員企業17社(2015年8月現在)(50音順)

- ・(株)IHI・鹿島建設(株)・(株)関電工
- ・(株)神戸製鋼所・JFEスチール(株)・清水建設(株)
- ・大成建設(株)・(株)竹中工務店・東京電力(株)
- ・(株)東芝・トッパン・フォームズ(株)・(株)日本製鋼所
- ・(株)日立製作所・富士電機(株)・古河電気工業(株)
- ・三菱重工業(株)・三菱電機(株)

## ふくしま応援企業ネットワーク定時総会【概要】

新規

■日時 2015年5月15日(金) 午後3時00分～午後5時00分

■場所 郡山市内「ホテルハマツ」

■出席者 会員企業17社より役員がご出席  
当社からは 福島復興本社代表 石崎 芳行 が出席

■議事 ○ 平成26年度事業報告  
○ 平成27年度事業計画他の承認

■講演 「福島県の風評・風化対策の強化に向けて」について  
福島県総務部風評・風化対策監 野地 誠 様

※総会翌日、「福島県農業総合センター」「二本松市内の農業NPO法人」他を視察



【定時総会の様子】



【福島県内農園視察】

活動実績（2015年7月末現在）

<復興推進活動>

項目	内容	対応人数実績
清掃・片付け (p3～p4)	住宅・神社・海水浴場等の清掃・片付け	約57,400人
荷物運搬・整理 (p5～p7)	小学校・中学校・役場等の移転に伴う荷物運搬・整理	約1,300人
除草作業 (p8～p9)	墓地・町道・住宅等への進入路・国道沿線等の除草	約37,300人
除雪作業 (p10)	仮設住宅の除雪	約2,700人
営農再開等に向けた対応 (p11～p13)	電気柵の設置・点検、畑の復旧、ビニールハウスの解体、牛舎の清掃等	(約7,400人) * 除草・荷物運搬に含まれる
一時帰宅対応 (p18)	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約51,000人
その他(p14～p17, p19～p20)	イベント対応、介護研修会講師派遣等 他	約27,700人
合 計		約177,400人

<除染推進活動>

項目	内容	除染特別地域	汚染状況重点調査地域
モニタリングへの対応 (p21～p24)	農地・宅地・学校のモニタリング、モニタリングカーによる走行サーベイ、歩行モニタリング、JR常磐線の運転再開に向けたモニタリング等	約14,700人	約25,800人
国直轄除染への対応(p25～p27)	環境省からの要請で常磐自動車道除染工事への対応、除染関連作業への工事監督業務への対応等	約25,500人	—
市町村除染への対応(p28～p29)	学校、公共施設・古墳における除染作業等	—	約12,300人
廃棄物等 (p30)	滞留中の牛糞堆肥運搬・施用を促進するスキームへの対応等	約400人	約3,900人
その他 (p31～p34)	除染関連業務に係る技術開発・検討、除染の加速化や放射線の不安低減に向けた取組み等	約15,900人	約16,400人
合 計		約56,500人	約58,400人



本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。